

札幌市が抱える課題について、市民の皆さんと一緒に考えていくための企画です。

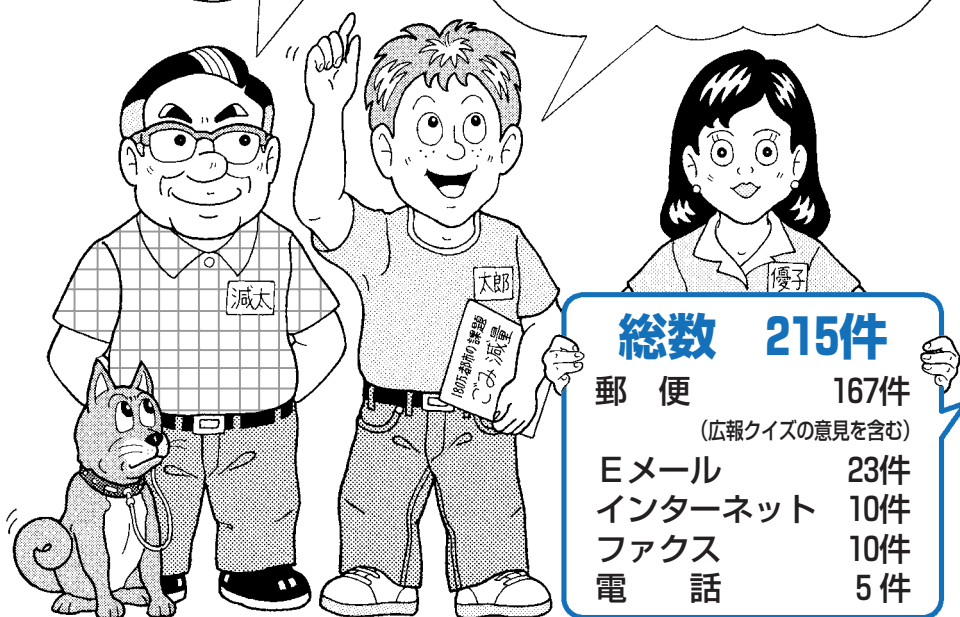
「ごみ減量

市民
事業者
行政

さらなる一歩を協働で
に寄せられた声の紹介

ごみの発生抑制に向けた、市民・事業者・行政の役割分担の在り方などを考える8月号の特集記事に、たくさんのご意見をいただきました。

皆さんから寄せられたご意見・ご提案をすべて紹介できないのが残念ですが、今月はその一部を紹介します。



総数 215件

郵便	167件
<small>(広報クイズの意見を含む)</small>	
Eメール	23件
インターネット	10件
ファクス	10件
電話	5件

身近な改善から
制度の見直しまで

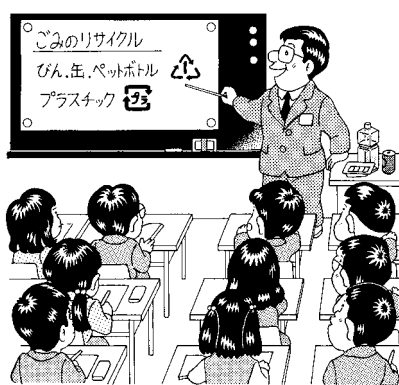
目指すは一つ、ごみ減量！

●環境対策の先進国の一つ、ドイツでは、企業はできるだけごみを出さないような商品を作っています。一例を挙げると、牛乳なども、持参した空きびんに入れる販売方法のようです。札幌市はミュンヘンと姉妹都市提携を結んでいるので、ごみ行政に関する情報交換も行い、良いところを積極的に取り入れるべきではないでしょうか。

(北区 年代不詳)

●ごみ処理費用の規模の大きさに驚きました。こうした現状に対して、市民一人ひとりがもっと関心を持たなければならぬと思います。人ごとと考えないで、できるだけごみを出さないように、みんなで真剣に取り組みましょう。

(豊平区 六十歳代)



環境教育を充実させる
(厚別区 30歳代)

●関西には、家庭ごみを戸別回収する自治体があるそうです。その方法だと、中身が一目瞭然なので、みんなきちんと分別してごみを出すのではないのでしょうか。また、夜中に出す人も少なくなるはず。ちゃんと分別できていないごみは、回収しなければいいのです。

(清田区 竹浦春子さん)

●ごみ問題の解決策として、将来的には有料化を否定しませんが、まずは市民の意識改革が必要だと思います。具体的には、市が実施している「ごみ排出モニター」の人数を増やしてみてもいい。自分のごみの排出量を認識すれば、きっと減らす工夫や努力をするはずです。

(白石区 柴田奈実さん)

●こまめに分別すればごみ袋代がかなり、ペットボトルをきれいに洗えば水道代が掛かります。率直に言って、リサイクルに真面目に取り組む人ほど損をする気がします。公平な仕組みをつくらない限り、これ以上の減量を進めるのは難しいのでは。

(豊平区 三上拓也さん)

●ごみ処理費用は税金で負担するべきではない。税金だと、自分の懐が痛むという実感がないので、真剣にごみを減らそうという気にならない。だから、処理費用は生産者と消費者で負担するべき。企業はその費用を価格に上乗せすれば、製品が売れなくなるのだから企業努力を重ねるはず。消費者も価格が上がれば、必要